

## 眼科に通院歴のある患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は診療情報を使って行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とした医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。なお、この臨床研究は関西医科大学附属病院研究倫理審査委員会の審査を受け、研究方法の科学性、倫理性や患者さんの人権が守られていることが確認され、病院長の許可を受けています。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

《研究課題名》 涙道閉塞における角膜潰瘍の特徴の研究

《研究代表機関名・研究代表者名》 関西医科大学附属病院・眼科 准教授 佐々木香る

《研究の目的》 目から鼻につながる涙道が閉塞しますと、角膜炎が生じます。これは目の表面の細菌がいろいろと変化するためと推測されています。しかし、実際には角膜炎だけが抗菌薬で治療されることが多く、涙道の閉塞は見逃されることが多いです。しかし、もともとの原因である涙道の閉塞が治療されないと、また角膜炎が再発します。このような状態を早く見つけて角膜と涙道の両方の治療を行えるようにするため、この病気がどのような特徴があるのかを明らかにするために、患者様の目を治療した情報を集めて研究させていただきます。

《研究期間》 研究承認日～2022年12月31日

《研究の方法》

●対象となる患者さん

涙道閉塞に伴い角膜炎を発症した患者さんで、2019年9月1日から2020年12月31日の間に関西医科大学眼科で治療を受けた方

●研究に用いる情報の種類

- ✓ 情報：診断名、年齢、性別、治療経過、投薬内容、視力、分離菌、治療期間
- ✓ 試料：なし

《外部への情報の提供》

- ✓ 外部への提供：該当なし

《この研究に関する情報の提供について》

この研究に関して、研究計画書や研究に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

《この研究での診療情報等の取扱い》

診療情報等には匿名化処理を行い、患者さんの氏名や住所などが特定できないように安全管理措置を講じたうえで取扱っています。

《本研究の資金源・利益相反について》

この研究は外部の企業等からの資金の提供は受けておらず、研究者が企業等から独立して計画して実施しているものです。したがって、研究結果および解析等に影響を及ぼすことは無く、患者さんの不利益につながることはありません。また、この研究の研究責任者および研究者は「関西医科大学利益相反マネジメントに関する規程」に従って、利益相反マネジメント委員会に必要事項を申請し、その審査と承認を得ています。

\*上記の研究に利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

《問い合わせ先》

研究責任者および研究内容の問い合わせ担当者  
関西医科大学附属病院  
大阪府枚方市新町 2-3-1  
電話 072-804-0101 (代表)      FAX 072-804-2039  
研究責任者：眼科 准教授 佐々木香る

共同研究機関

JCHO 星が丘医療センター  
大阪府枚方市星丘 4-8-1  
電話 072-840-2641 (代表)

永田眼科医院

奈良県奈良市宝来町 1147  
電話 0742-45-2230 (代表)